

| 研究のすすめ方                           | 研究の具体策と配慮事項  |
|-----------------------------------|--|
| <p>3. 限定された研究課題をもとに研究主題を設定する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 研究課題を限定する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研究課題相互の関連を考え、分析統合した結果をもとに共通する部分を集約し、研究課題が一つに限定するように努める。</li> </ul> </li> <br/> <li><input type="checkbox"/> 自校の実態を考え次の点から研究主題を構想する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 到達の姿（児童生徒像）</li> <li>・ 内容・方法</li> <li>・ 組 織</li> <li>・ 期 間 等</li> </ul> </li> <br/> <li><input type="checkbox"/> 限定された研究課題の到達点を具体的にイメージ化して、予想される困難点にでき得る限り対処できるような具体的な方策を想定して研究主題を設定する。</li> <br/> <li><input type="checkbox"/> 研究主題名は、研究の意図が十分表現されるように簡明適切にする。               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目的、内容、方法がわかる表現にする。</li> </ul> </li> <br/> <li><input type="checkbox"/> 研究主題設定の経過を確認し、共通理解を図る。               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ モラールを高めていくためには、これまでの経過をふりかえりながらすすめることが大事である。</li> </ul> </li> <br/> <li><input type="checkbox"/> 主題研究の推進に個人研究を関連づけることも考慮する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主題研究の全体的な見通しに位置づけて、個人研究が直接的にあるいは間接的に有効に機能していくようにする。</li> </ul> </li> </ul> |

（その他は、校内研究ハンドブック参照）

※上記①、②の手順・内容をまとめると次のようになる。

